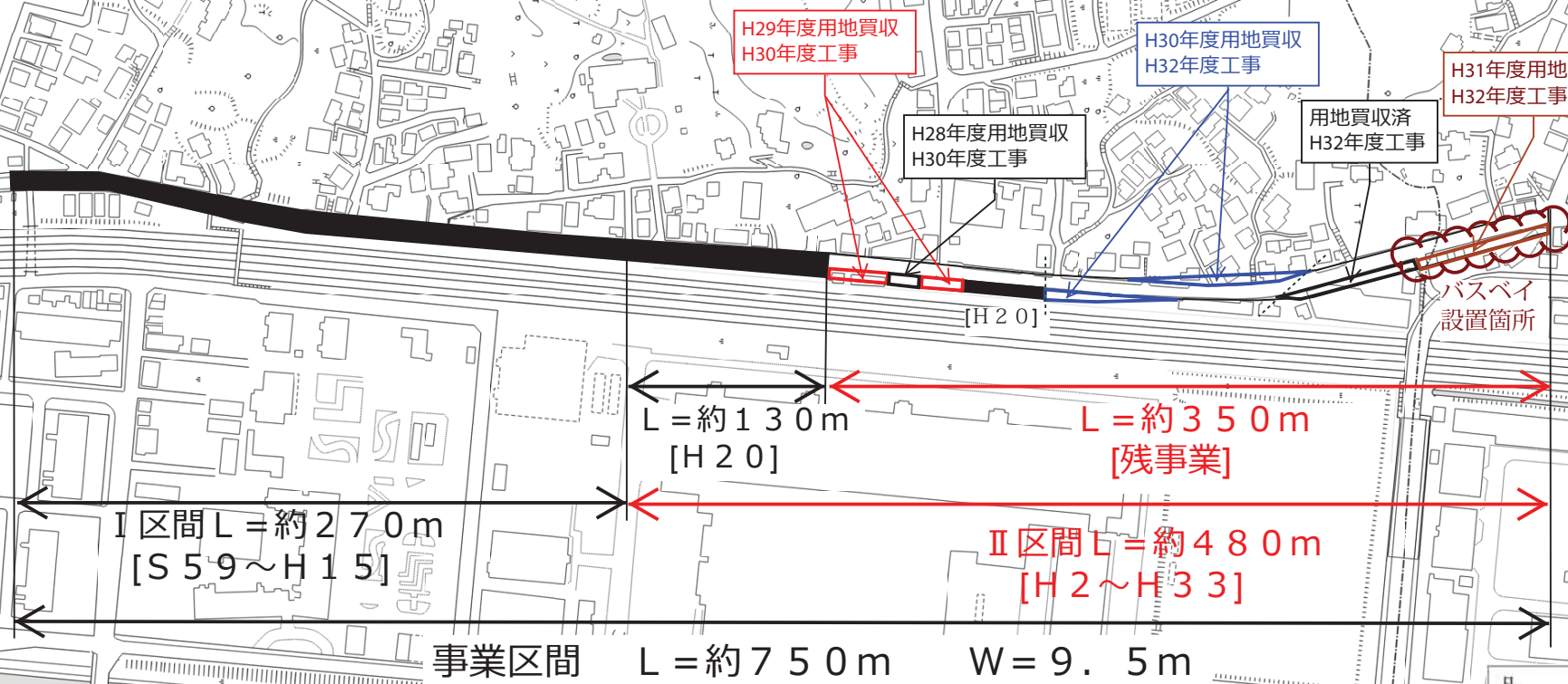


# 大船停車場矢部[上倉田地区]

(S=1/2,500)



凡	例	用地	工事
28年度まで	黒枠	黒塗	
29年度施行箇所	赤枠	赤塗	
30年度施行予定	青枠	青塗	
残事業	茶枠		

## 事業進捗状況

## 県道大船停車場矢部線

(単位：百万円)

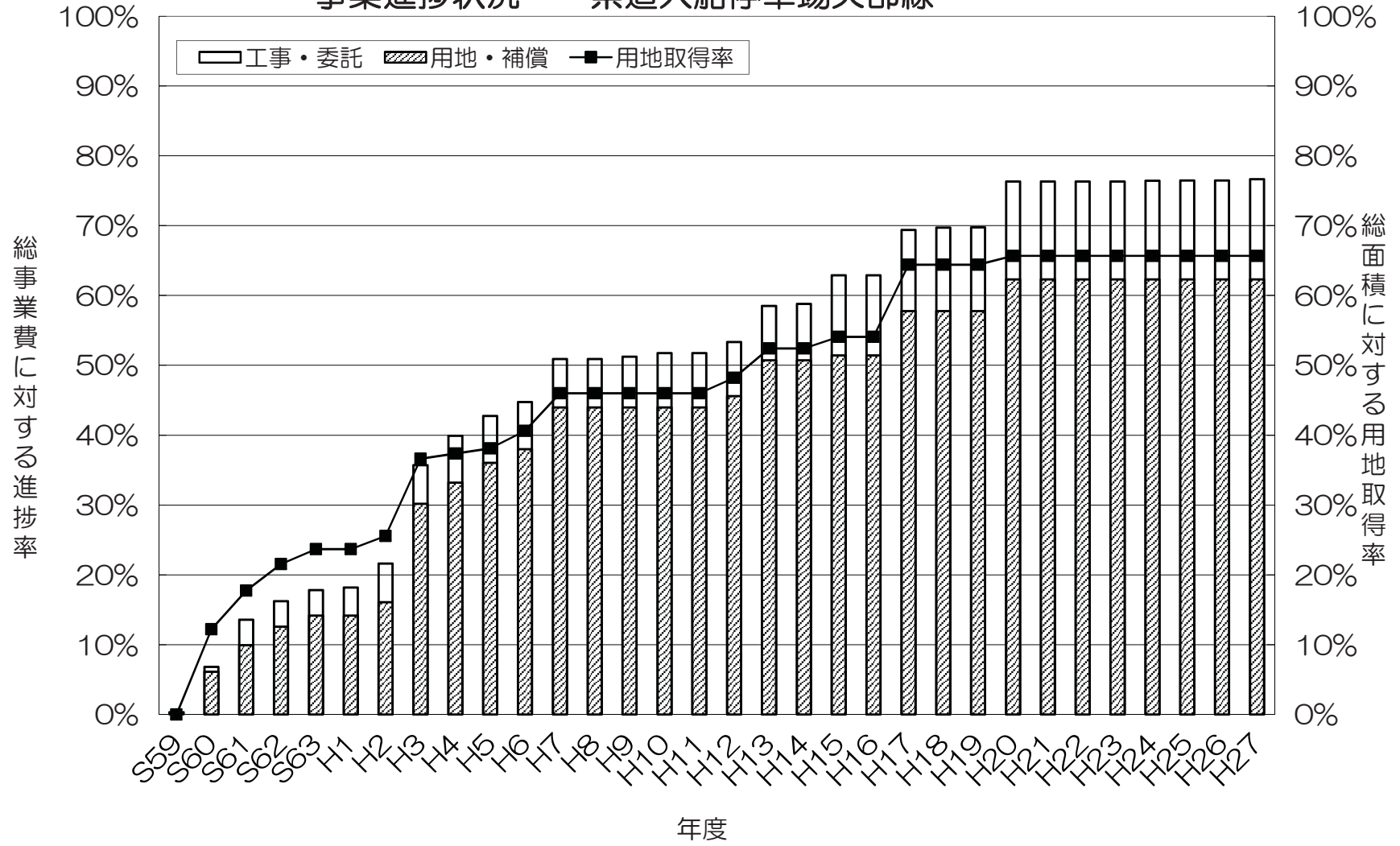
年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
S59	5	0	5	0.3%	0.0%	0.3%	0	0	0.0%
S60	107	100	7	6.8%	6.1%	0.7%	373	373	12.2%
S61	110	63	48	13.6%	9.9%	3.6%	169	542	17.7%
S62	44	44	0	16.2%	12.6%	3.6%	116	658	21.5%
S63	26	26	0	17.8%	14.2%	3.6%	66	724	23.7%
H1	7	0	7	18.2%	14.2%	4.0%	0	724	23.7%
H2	56	31	25	21.6%	16.1%	5.5%	58	782	25.6%
H3	231	231	0	35.7%	30.2%	5.5%	338	1,120	36.6%
H4	69	50	19	39.9%	33.2%	6.7%	23	1,143	37.4%
H5	46	46	0	42.7%	36.0%	6.7%	22	1,165	38.1%
H6	33	32	0	44.7%	38.0%	6.7%	77	1,242	40.6%
H7	101	98	3	50.9%	44.0%	6.9%	165	1,407	46.0%
H8	0	0	0	50.9%	44.0%	6.9%	0	1,407	46.0%
H9	6	0	6	51.2%	44.0%	7.3%	0	1,407	46.0%
H10	8	0	8	51.8%	44.0%	7.8%	0	1,407	46.0%
H11	0	0	0	51.8%	44.0%	7.8%	0	1,407	46.0%
H12	26	26	0	53.4%	45.6%	7.8%	68	1,474	48.2%
H13	85	85	0	58.5%	50.7%	7.8%	128	1,603	52.4%
H14	5	0	5	58.8%	50.7%	8.1%	0	1,603	52.4%
H15	67	11	56	62.9%	51.4%	11.5%	51	1,654	54.1%
H16	0	0	0	62.9%	51.4%	11.5%	0	1,654	54.1%
H17	106	104	3	69.4%	57.7%	11.6%	315	1,969	64.4%
H18	6	0	6	69.7%	57.7%	12.0%	0	1,969	64.4%
H19	1	0	1	69.8%	57.7%	12.0%	0	1,969	64.4%
H20	108	75	33	76.3%	62.3%	14.0%	39	2,008	65.7%
H21	0	0	0	76.3%	62.3%	14.0%	0	2,008	65.7%
H22	0	0	0	76.3%	62.3%	14.0%	0	2,008	65.7%
H23	0	0	0	76.3%	62.3%	14.0%	0	2,008	65.7%
H24	1	0	1	76.4%	62.3%	14.1%	0	2,008	65.7%
H25	1	0	1	76.5%	62.3%	14.2%	0	2,008	65.7%
H26	0	0	0	76.5%	62.3%	14.2%	0	2,008	65.7%
H27	3	0	3	76.7%	62.3%	14.4%	0	2,008	65.7%
合計	1,257	1,022	235				2,008		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

# 事業進捗状況 県道大船停車場矢部線



前回再評価内容との比較

県道大船停車場矢部道路改良

	前回(H23)	今回(H28)	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>環状3号線などの整備が進み本路線と接続したことで、環状3号線との流入流出交通が増加したため、本地区を整備する重要性はますます高まっています。</p> <p>また、現況幅員が狭いことから、バス停での渋滞も慢性的に生じています。残りの区間の整備とともに、バスベイ設置による渋滞緩和が求められています。</p>	<p>当該事業の未整備区間では、車道や歩道が狭く、空間内に標識や電柱があるため、歩行者の安全性や大型車の通行に課題があります。また、通学路でもあることから地元やスクールゾーン協議会から安全性の向上について、強く要望されており、早急に整備行う必要があります。</p>	<p>平成25年度には、戸塚大踏切デッキ、平成27年度には、戸塚駅の東西道路を結ぶとつか地下道が供用開始され、駅周辺については、混雑の緩和、安全の確保、利便性の向上が図られました。しかしながら、当事業区間は路線バスが平日約730台運行しており、未整備区間の道路は狭く、早期の整備を望む声が市民及びバス事業者から寄せられています。</p>
事業進捗率	76%	77%	+1%
用地取得率	66%	66%	+0%
供用等の状況	400m	400m	+0m
事業の進捗見込	<p>改めて測量・調査を行った結果、官有地を利用したバスベイの設置が可能であることがわかりました。バスベイ設置は路線バスの渋滞対策としても高い整備効果が期待できます。</p> <p>終点側からも整備を進めることで、渋滞緩和による高い整備効果が期待でき、事業に対する理解を得ることにもつながると考えます。引き続き用地買収と工事を進め、平成28年度完成を目指します。</p>	<p>戸塚駅側について、地権者の理解も得られたため、今年度中に1件の用地買収を予定しています。</p> <p>また、両側の他の地権者からの協力も得られているため、引き続き用地交渉を進め、用地取得した箇所から工事に着手し、平成33年度の事業完成を目指します。</p>	<p>平成24年度より、戸塚駅側及び大船駅側の両側から地権者と用地交渉を進めておりましたが、移転先の用地確保や補償内容の説明に時間を要していました。</p>